国立市電子契約説明会における質疑応答（要旨）

Q. 電子契約利用申出書について、電子契約を希望しない場合のみの提出とすることはできないか。

A. 電子契約を希望する場合に毎回、電子契約利用申出書を提出することは事業者の方にとって手間であるとは考えておりますが、まずは運用を開始する中で電子契約を利用する割合を確認していき、場合によっては例えば1年に1回の提出とする等、より良い運用の仕方がないかを検討してまいります。ただし、工事請負契約においては、電子契約を利用することについて相手方の同意が必要であり、その確認のために電子契約利用申出書をご提出いただくという意味合いがございます。そうした点からも現時点では電子契約を希望しない場合のみの提出という運用までは考えていないところです。

Q. 電子契約と紙の契約書を併用していくとのことだが、電子契約に統一していかないのか。

A. 本市としては電子契約を推進していきたいと思っておりますが、現時点では電子契約に統一するところまでは考えておらず、事業者の方が電子契約又は紙の契約書を選択できるように運用してまいります。

Q. 電子契約利用申出書において担当者と承認者のメールアドレスを登録することのことだが、担当者にも電子契約サービスからのメールが送られてくるのか。

A. 担当者のメールアドレスの登録は任意ではありますが、担当者のメールアドレスも登録を行えば、担当者、承認者の両者にメールが届きます。

Q. 見積書に押印を求められることがあるが、見積書は電子化されないのか。

A. 見積書については、すでに原則として押印不要としており、メール等での提出が可能となっております。しかし、部署によりこれが徹底されていないものかと思われますので、原則として押印不要とするようにあらためて庁内に周知してまいります。